

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 五味 秀幸

幹 事 手塚 正智

会報・雑誌委員長 吉田 恭平

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2828号 2019年3月12日(晴れ) 第34回例会 会員数124名 列席85名 出席率70.27%



点 鐘 五味 秀幸 会長
司 会 副SAA 小林(弘) 会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

◇本日のランチ

小付 刺身 ミートボール木の子添えホイル包
香の物 汁 御飯 デザート



ビジター紹介 稲見 副会長

◇宇都宮東RC夫人の会の皆様(4名)

◇米山記念奨学生

チョンセンチャン カムニーサイ君

◇本日卓話講師の螺良会員の随行

菅谷通正様 鈴木智也様

会長挨拶 五味 秀幸 会長

皆さん、こんにちは。昨日3月11日は8年前に東日本大震災があった日でございます。国の支援金が10年ということらしいのですが、現地では人口の減少、高齢化など、問題が残っているようです。また、昨日の時点で2,500人近くの方が未だ発見されていないとのことで、復興はまだ遠いという感じがします。心のケアももっと必要なのではないかと思えます。そのような中、先週3日間、当クラブでは、大船渡市に桜の植樹をしました。今後の花見の復活を期待したいと思っております。今年は花粉の量が多く、アレルギー鼻炎、花粉症が大流行りです。先週僕のところにも汚い手でこすって感染性の結膜炎になった方がきました。目の症状が出た時は我慢しないですぐ相談していただければと思います。今日の卓話は螺良昭人会員です。宜しくお願いたします。

◇奨学金の授与

米山記念奨学生

チョンセンチャン カムニーサイ君

※最後ということで、ご挨拶がありました。



幹事報告

手塚 幹事

◇市内10RC親睦ゴルフ大会ご案内

5月6日(日)、宇都宮カンツリーにて開催。

◇3月19日の例会はクラブ細則改定案の審議。

配布した改正案をご持参下さい。改正案の一部訂正があり、クラブ組織図の中の(ロータリー家族委員及び夫人の会担当委員を含む)を削除して下さい。

◇3月9日(土)、大船渡市へ桜の植樹に、太城バスターガバナー、山中社会奉仕委員長、床井社会奉仕委員、私とで行って参りました。

※サクラの植樹活動の記事を参照下さい。



委員会報告

轟 委員長

◇出席委員会

<皆出席表彰・2月分>

通算37年 佐々木 正会員

通算30年 宮下 浩会員

通算30年 田邊 幅一会員

連続28年 五月女大介会員

連続28年 末永 義雄会員

通算21年 細谷 俊夫会員

通算17年 若井 勲会員

通算13年 渡邊 有規会員

通算12年 炭田 匡利会員

◇親睦委員会

山崎 副委員長

・4月14日(日) 親睦バス野球観戦ツアー。

・5月6日(月) 市内10RC親睦ゴルフ大会開催。

◇米山記念奨学会

吉高 神委員長

チョンセンチャン カムニーサイ君の送別会が地区で開催され修了書が授与されました。3月20日に宇大の卒業式があり、26日に帰国することです。当クラブで3月18日に歓送会をいたしますので是非ともご参加をお願いします。



卓 話

「ロータリーと県政について」 螺良昭人会員



ーパワーポイントにて説明ー

1. 栃木のエネルギー戦略

気候変動適応法という法律が施行されました。気候変動の大きな要因のCO₂の削減に対する栃木県のエネルギー戦略を説明します。

コージェネレーション

ー熱と電気を同時に供給するシステム。ガスによる発電、地下熱を利用した発電、地熱発電（那須地域、日光では温泉熱を利用した発電を考慮中）、バイオマス発電（那珂川町の桜バイオマスは草を燃やしてエネルギーに変える）、小水力発電（河川や下水等水量の強い所を利用して発電する方法）等、説明がありました。ー産業部門の将来イメージ

ーエネルギーを使う所にセンサーを付けて一括して無駄のないエネルギー供給をするFEM

S（ファクトリーエネルギーマネジメントシステム）やBEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）等の説明がありました。ー

家庭ではHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）。LEDや電気自動車等、エネルギーの効率を高めていくと同時に自然エネルギーの力を十二分に使う時代になってくると思います。

2. 栃木が取り組む職場環境づくり

働き方改革に焦点を合わせてお話をさせていただきます。栃木県の生産人口は2060年にはピーク時の約半分になっていきます。そうすると人手不足が出てきます。働き方改革はそうした中で行なわれ、改革の3つの柱、「長時間労働の解消」「非正規社員と正社員の格差の是正」「高齢者の就労促進」が命題になっています。働き方改革に対して県では、「理解促進セミナー」「無料相談」「改善応援事業」「女性の社会進出の補助、助成」などを行っています。

3. 栃木の未来をつくる

- ・栃木県の歴史や祭り等、県庁舎に映し出されたプロジェクトマッピングのDVDの鑑賞
- ・吉永小百合さんが出演した栃木ディスティネーションキャンペーンのCM鑑賞
- ・2017年、技能五輪・アピリンピックの動画鑑賞

サクラに願いを込めて

大船渡と宇都宮を結びサクラの植樹活動を行う

東日本大震災復興の絆として岩手県大船渡市へそれぞれの願いをサクラに込めて植樹事業を行いました。宇都宮東ロータリークラブと大船渡西ロータリークラブの共同で平成31年3月7日から3日間で、大船渡町夢海公園など4ヶ所に植栽を行いました。今回は宇都宮東クラブがサクラの苗木を用意、大船渡西クラブが土や重機を手配し、ジンダイアケボノやオオヤマザクラなど4種類、52本の苗木を同公園のほか、明神前公園、赤崎町の永浜地区、三陸町の越喜来地区にそれぞれ植えました。宇都宮東では9日にクラブの太城敏之パストガバナー、手塚正智クラブ幹事を含めた4名の会員が出向き、大船渡西クラブの会員と合同で植栽を行いました。震災から8年、東日本大震災後、大船渡を支援し続けてきている宇都宮東ロータリークラブは、今回を皮切りに震災後10年となる2021年までこの活動の継続を計画しています。

